

2022
3
広報しみず
ゆう・える

「まちに気づく まちを築く とかち清水 ~想いをミライに繋ぐまち~」

SHIMIZU



特集
モオ〜ツと
「飲んで」「食べて」
牛乳・乳製品!



ゆう える 「しみず学園」
~みんなと楽しく学びましょう!~

写真 みんなで MILK 飲んで・食べて 消費拡大プロジェクト



特集

モオ〜ツと「飲んで」「食べて」牛乳・乳製品!

3月31日
まで
開催中!

みんなでMILK飲んで・食べて消費拡大プロジェクト!

●主催 JA十勝清水町 ●共催 清水町、清水町商工会、清水町観光協会、清水町牛乳消費拡大推進連絡会議

お得!

牛乳・乳製品を購入の方に
もう1本(個)プレゼント!

- ・牛乳2本購入ごとにもう1本!
- ・乳製品1000円以上購入ごとにもう1個!



清水

牛乳・乳製品購入の方に
キッチンカーで
ホットミルクなどを無償提供!

※都合により中止になることもあります。



美味しい♪

御影

牛乳・乳製品購入の方に
牛乳200mlをプレゼント!

期間中、町内飲食店による
「牛乳ウェルカムドリンク」と
「お通しチーズ」を無償提供!

開催店舗はポスター・ミニノポリが目印!



第2弾→
ポスター



清水

- 開催日 3月19日(土)
3月26日(土)
- 場所 サゾドラ十勝清水店
横スペース
- 時間 10:00~14:00

開催は
あと
2回!

御影

- 開催日 3月19日(土)
3月26日(土)
- 場所 役場御影支所ロビー
- 時間 10:00~14:00

昨年未だ懸念された生乳大量廃棄の事態から約3カ月 春先まではまだ安心できない状況が続くと予想 まちぐるみで 牛乳消費拡大に取り組む

酪農の町として

町内各団体が連携して
プロジェクトを推進

全道3位の生乳生産を誇る酪農の町である清水町。令和2年度には、町内で14万5千トンの生乳を生産しています。

昨年末、牛乳や乳製品の原料となる生乳が余り、約5千トンの廃棄が懸念される事態が報道されました。要因として、長引く新型コロナウイルスの影響による飲食店向けの需要減や、冬休みで学校給食の休止に伴う消費量の減などがあげられています。

その後、全国での消費拡大運動や乳製品加工施設の稼働率引き上げ等で、生乳廃棄は回避されました。

しかし、今後、春休みによる学校給食の休止、また季節的に生乳生産が増える春を迎えるなど、需要と供給のバランスが崩れるのではないかとのおそれがあり、まだ安心はでき



JA・町・商工会・観光協会・牛乳消費拡大推進連絡会議が協力して町を挙げてプロジェクトを推進。

ない状況といわれています。清水町としても、まちぐるみでの取り組みをすべく、JA十勝清水町が中心となり、1月22日から、牛乳・乳製品の消費拡大を進める「みんなでMILK飲んで・食べて消費拡大プロジェクト」が3月31日まで実施されています。

プロジェクトを機会に
いつもより少し多く
「飲んで」「食べて」

毎週土曜日に行われているイベントでは、毎回牛乳600本、乳製品は600個程度用意されていますが、町内外から多くの人が訪れ、日によっては終了時間前に牛乳が売り切れてしまうこともあるそうです。

会場に訪れた人は、「イベントのことはチラシやSNSを見て知った。牛乳2本を買って1本無料はとてもお得。牛乳・乳製品は料理などによく使用する。牛乳廃棄は私たち消費者にとっても看過できない問題



イベント会場には牛乳・バター・チーズ等約20種類程度の商品が用意されています。

だと思つので、消費拡大に協力したい。」と話されていました。消費拡大プロジェクトを機会に、牛乳・乳製品をいつもより少し多く、「飲んで」「食べて」みませんか?

『生産者の想いや苦労を
無駄にしないため
牛乳消費拡大に力を』



JA十勝清水町
氷見 隆雄 組合長

昨年末に懸念されていた生乳の廃棄は回避されましたが、5月頃までは安心できない状況です。

乳牛は毎日搾乳する必要があり、生産抑制は困難です。JAとして、生産者の想いや苦労を無駄にしないためにも、牛乳消費拡大策を進める必要があると判断し、町全体で消費拡大の機運を高めるため、町をはじめ町内各団体と協力して、約2か月間にわたる事業を展開することにしました。この事業を通じて、消費者の皆様には、あらためて牛乳・乳製品の美味しさを感じていただければと思います。



牛乳と十勝清水にんにく de のび～るマッシュポテト♪

【材料】

- じゃがいも 200g
- モッツアレラチーズ 100g
- とろけるチーズ 60g
- 牛乳 80ml
- バター 20g
- にんにく(すりおろし) 1～2片
- ブラックペッパー 適宜
- パセリ 適宜



【つくりかた】

- ①じゃがいもの皮に切れ目を入れて水から火にかけて茹でます。
水からゆっくり加熱することで風味が保たれ水っぽくなりにくいです。
- ② 柔らかく煮えたらマッシャーでしっかり潰します。
熱いうちにしっかり潰すと、滑らかな仕上がりに。
- ③ フライパンに、バター、すりおろしにんにくを入れて中火にかけます。
- ④ にんにくの香りが立ってきたら「牛乳」を加え、少し温めます。
- ⑤ 細かく刻んだ「モッツアレラチーズ」と「とろけるチーズ」を加え溶かします。
混ぜながらしっかりと溶かしてください。
- ⑥ マッシュしたポテトを加え、全体がしっかりと混ざるようによくかき混ぜます。
- ⑦ 粘りがでてきたところで、ヘラを持ち上げて伸び具合をチェック!
ヘラを持ち上げて「わぁ」と声があがったら完成です。
- ⑧ お好みでブラックペッパー やパセリを加えて仕上げてください。



どさんこ食材ハンター
みーやんさん

北海道フードマイスターの資格を持ち、産地の農水産品を活用する「料理研究家」兼「出張料理人」として活躍中!

動画レシピは
こちらから!



みーやんさんから おすすめポイント

「Aligot」(アリゴ) は、にんにくの香りが追いかけてくるマッシュポテトです。

「おうちごはん」を盛り上げる一品に! ホットプレートで保温しながら食べると、のびる感が長持ちします。お肉やパンと一緒にどうぞ♪

この他の牛乳・乳製品レシピはイベント会場(サツドラ十勝清水店横スペース・役場御影支所ロビー)で配布しています!



図書館 からも!



牛乳の
レシピ本等を
展示中!

村越司書

町図書館では牛乳消費拡大プロジェクト期間中の3月31日まで、「牛乳を知ろう飲もう食べよう」をテーマに牛乳や乳製品に関連した本の展示していますので、ぜひご利用ください!

■お問い合わせ 図書館 (☎ 62-3030)

「みんなでミルクを飲もう!」消費拡大プロジェクトに協力、町内事業者インタビュー!



喫茶グレイス
森本 則代さん

「このイベントが今後の牛乳消費拡大につながってほしい」

「牛乳ウェルカムドリンク」「お通しチーズ」として、牛乳消費拡大プロジェクトから牛乳・チーズを無償提供いただき、お客様にお出ししていますが、とても好評で喜ばれています。

同事業が今後の消費拡大へつながってほしいですね。牛乳は普段から料理に活用することが多いので、新たな牛乳レシピを考案してみようかなと思っています。

町内飲食店で開催中! (3月31日まで) 「牛乳ウェルカムドリンク」「お通しチーズ」



牛乳ウェルカム
ドリンクをどうぞ!



牛乳・チーズも
いただけで満足!

地域おこし協力隊 中田幹悟さん

清水高校生に大好評! パンの購入者に牛乳をプレゼント!



パンと一緒に
牛乳も飲んでね!



阿部町長

じゅん&まき
小野てるみさん(写真左)

「パンと牛乳の相性は抜群、 これからも続けてもらえれば」

清水高校には、週3回程度来校して、パンを販売しています。

2月から始まったパン購入者への牛乳の無料配布は、育ち盛りの高校生の皆さんにとって、栄養の面からも、とても良い取り組みだと思います。

パンと牛乳の相性も抜群です。生徒の皆さんも喜んでいるので、ぜひこれからも続けていただけたらと思います。



牛乳
大好き!

脇本春希さん (2年生)
竹田颯汰さん (2年生) 大川皓星さん (2年生)

牛乳は、町牛乳消費拡大推進連絡会議が無償提供。提供初日となった2月2日には阿部町長が高校生に牛乳を手渡しました。

— 令和3年1月1日 ~ 12月31日 —

清水消防署の各出動統計

火災出動件数 12件
 救助出動件数 10件
 警戒出動件数 26件
 風水害出動件数 23件
 救急出動件数 321件
 あなたを救う 119



全国の火災発生状況

総務省消防庁が令和4年1月に発表した「令和3年版消防白書」によりますと、令和2年中の全国の火災発生件数は3万4千691件で、1日あたり95件発生したことになります。

種別ごとに見ると建物火災が1万9千365件で火災全体の55・8%を占め、放火を除く建物火災のうち住宅火災は1万564件で前年比506件増加しています。

建物火災の出火原因は「コンロ」が第1位で、次いで「たばこ」「電気機器」となっています。

すべての火災による死者は1千326人であり、そのうち放火自殺者などを除く住宅火災による死者は899人で前年と同人数となりました。

また、住宅火災による死者のうち65歳以上の高齢者は645人と71・7%を占めています。

住宅火災の死に至った経過別にみると、「逃げ遅れ」が448人（全体の49・8%）と最も多く、次いで「着衣着火」「避難後の再進入」となっています。

清水町の火災発生状況

本町の令和3年中（1月1日、12月31日）の火災発生件数は12件で、建物7件、車両1件、その他4件となっています。【表1】

建物火災の主な出火原因は、「コンロ」「取火」「推肥」「車両電気配線」となっています。また、火災による死者は1名、負傷者0名となっています。

火災は一瞬にして私たちの生命や財産を奪う大変恐ろしい災害です。しかし、その原因の大半は「失火」です。油断や不注意から火災は発生しており、未然に防止できるものが多いのです。

悲しい結果にならないためにも、普段から防火意識を持ち、細心の注意と気を配り、万が一出火した場合も、通報・初期消火・避難の方法を事前に考えておくことで、被害の軽減が図られます。火災を防ぎ、安心で明るい町を目指しましょう。

消防機関の行う人命救助とは、火災・交通事故・水難事故・自然災害や機械による事故等から、油圧式救助器具等の資機材を用いてその危険

警戒出動件数

警戒出動は、交通事故による車両燃料の漏洩や火災疑いの通報など、放置することで火災に至る危険性が考えられ、高速道路路上などの救急出動現場で2次災害の防止や救急隊の活動支援を必要とする場合に、これらの危険を排除する活動をいいます。

令和3年中の出動件数は26件で、救急支援15件、危険物漏洩8件、その他3件となっています。

救急出動件数

令和3年中の救急出動件数は321件で、急病、一般負傷、交通事故の3つで全体の約8割を占めています。搬送人員は303人で、前年より16人増加しています。【表2】

高齢化が進み、出動件数は増加傾向にあり、その影響として救急車の現場到着時間が遅れるという現象が生じています。現状、救急車の増加は困難なため、「救急車の適正な利用」と「家庭内での事故防止」にご協力願います。

【表2】 救急件数

事故種別	火災	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
出動件数	令和3年 1件	20件	8件	0件	37件	3件	184件	66件	2件	321件
	令和2年 4件	29件	9件	1件	35件	2件	134件	76件	6件	296件
	比較 ▲3件	▲9件	▲1件	▲1件	2件	1件	50件	▲10件	▲4件	25件
搬送人員	令和3年 0人	18人	8人	0人	36人	2人	175人	64人	0人	303人
	令和2年 3人	33人	9人	1人	34人	0人	130人	76人	1人	287人
	比較 ▲3人	▲15人	▲1人	▲1人	2人	2人	45人	▲12人	▲1人	16人

住宅火災での「逃げ遅れ」を防ぐために！

住宅用火災警報器の設置は義務化されています

就寝中の火災が危険！

令和3年版消防白書によると、住宅火災による出火原因は、①コンロ②たばこ③電気機器となっています。

住宅火災による死者数は899人で「逃げ遅れ」による住宅火災の死者が448人と最も多く、全体の49・8%を占めています。そのうち就寝時間帯の死者は338人となっています。

就寝中の火災に早く気づき、逃げ遅れを防ぐには、住宅用火災警報器がとても有効です。

既存住宅の設置義務化は平成20年6月から施行されています。町内の住宅用火災警報器普及率は最新の調査で70・8%です。自らの命を守るためにも早急に設置しましょう。

電池切れや故障に注意を！

住宅用火災警報器の電池寿命は長いもので約10年。点検ボタンや引きひもを操作して作動しない場合や、音声又は警報音が繰り返し鳴動する場合は、電池又は本体の交換を行い正常に作動するよう維持管理をしましょう。

●問い合わせ先

清水消防署
広報調査係
☎62・2519



煙式火災警報器

風水害出動件数

風水害出動とは、暴風雨、大雨又は洪水等による災害が発生した場合、人命危険を排除するため、避難の介助及び安全確保など被害の拡大を防ぐ活動をいいます。

令和3年中の出動件数は23件で、前年比で23件増加しました。

【表1】 火災発生状況

年	令和3年	令和2年	比較
内訳	12件	13件	▲1件
火災種別	建物火災	6件	1件
	全焼	3件	0件
	半焼	0件	▲1件
	部分焼	1件	0件
	ぼや	3件	0件
	爆発	0件	0件
	林野火災	0件	▲2件
	車両火災	1件	▲2件
その他火災	4件	2件	2件
損害額	3,155万円	2,960万円	▲195万円
死者	1人	1人	0人
負傷者	0人	4人	▲4人

を排除し、安全な場所に救助する活動をいいます。

令和3年中の救助出動件数は10件で、交通事故が6件、建物事故2件、建物火災1件、その他1件で、交通事故の出動が全体の約6割を占めています。

伝統文化体験教室

2月16日 御影小学校

御影小学校6年生18名が町内文化団体からの協力を得て、日本の伝統文化を体験しました。

「花をきれいにいけることができてとても嬉しかった。」「たくさん練習できて楽しかった。」と楽しく日本の伝統的な文化を学んでいる様子でした。



◆華道◆

作品テーマは「いろいろな花」です！



田代光さん

◆三味線◆

みんなで楽しく演奏できました！



伊藤 紡季さん



書

道

卒業制作授業

2月28日 清水小学校

4月から中学校へ進学する清水小学校6年生の児童が、書写ボランティアの皆さんの協力を得て、自分の目標等を込めた四字熟語を条幅紙に書き上げました。書き上げた作品は卒業式に展示される予定です。

難しかったけど上手く書けました

知足安分

三浦 渉さん

感謝の気持ちを大事にします！

感謝感激

藤本 ひびきさん



福祉のひろば

権利擁護支援センターを知っていますか？



◆自分らしく暮らし続けるために 私たちはふだんの生活の中で、「選ぶ」「決める」「利用する」という事を繰り返し生活しています。これは私たちの『権利』でもあります。

多くの方が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられることを願っていると思います。

しかし、それまでできていた「選ぶ」「決める」「利用する」という事を、ひとりではできなくなってしまうとしたらどうでしょうか。

- ・「お金の管理がうまくできないう…」
 - ・「契約内容がよくわからないけど、契約してしまった…」
 - ・「頼ることができる親族がいなくて、将来が心配…」
- といった困りごとや心配ごとが増え、住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることが難しくなってしまう。

◆相談できる場所があります

これらの困りごとや心配ごとに対し、相談できる場として、町では、清水町権利擁護支援センターを清水町社会福祉協議会

に業務委託し、平成27年7月に開設しました。

清水町権利擁護支援センターは、認知症や知的障がい、精神障がい等で、判断能力が不十分になり、契約や財産管理などが困難になった方の権利を守り、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、お手伝いする相談支援窓口です。

◆「不安」が「安心」になるように いろいろな困りごとや心配ごととは、「不安」なことでもありますが、「安心」へと変わっていくように、まずは相談してみませんか？

清水町権利擁護支援センター

(清水町社会福祉協議会)
☎0156-69-2200
☎0156-69-2201
FAX 0156-69-2201
相談時間(平日)
午前8時30分～17時30分まで
※清水町老人福祉センターの中です。

健康

最前線



お子さんの生活リズムを整えることは『体や脳を育てること』

遠藤 加奈 保健師



生まれたばかりの赤ちゃんは、昼も夜も関係なく眠りますが、だんだんと日中に起きている時間が増え、夜に眠るとい生活リズムがつくられていきます。

人の体は、太陽の光に合わせてホルモンが分泌され、昼は活動、夜は休むようにできています。

◆生活リズムを作るのは視床下部 脳の視床下部(食欲や睡眠、体温や血圧の調節をするホルモンを分泌するところ)は生後3か月頃から働き始め、生活リズムをつくっていきます。視床下部が未熟なうちは、うまくリズムをつくれませんが、次のような大人のお手伝いが必要です。

- ①朝日をあびる：朝6時頃に太陽の明るい光をあびると、脳が目覚めます。朝日は、およそ15時間後に眠りを誘うホルモンを出すように働きます。加えて、着替えや洗顔等、皮膚や耳を刺激することで脳を起こします。
- ②朝食を食べる：内臓が目覚めます。しっかりとエネルギーをとつ

てから体を良く動かすと、ぐっすり眠れるように循環していきます。

◆視床下部が育っていくと 視床下部は4歳頃にほぼ完成し、その後は大脳(理性や総合的に考え判断するところ)が育っていきます。

◆視床下部がスムーズに働くためには 脳や体を休めて修復する時間が必要です。修復の際には、成長ホルモンが午後8時頃に分泌され始めます。暗く静かな環境をつくり、眠りにつかせることが体の成長を支えます。

◆生活リズムは家族みんなで整える 早く寝てほしいのに寝てくれなかったり、大人につられて就寝が遅くなることもあるかと思えます。そんな時も起床時間は遅くせず、朝日を浴びて体内時計をリセットしましょう。生活リズムは体や脳の成長の基盤になります。



冬～ 厳しさに生きる 人の中で 共に磨く
冬にスポーツ
「スケート・スキー」で体づくり

小学校では、保護者や先生方、地域の方々の協力をいただいて造成したスケートリンクを使って、体育の授業でスケートの学習をしています。中学校では、スキー連盟の方を講師に迎え、体育の授業でスキーの学習をしています。

小・中学校は、北海道・十勝の「冬のスポーツ」のスケートやスキーを通して、スポーツを楽しみながら技能の習得と寒さに負けない体づくりに取り組んでいます。

あらためて、スケートリンク造成にご尽力いただいた皆様やスキーの講師としてご協力いただきました方々に心から感謝申し上げます。



清水中学校3年生「スキーの授業」～スキーが止まり、気持ちよく滑走することができました。



御影小学校「スケートの授業」～たくさん練習して上手になり、体力も向上しました。

Topics (トピックス)

中央公民館講座「チャレンジクラブ」



中央公民館では、小学生を対象に自然遊びや工作を通して、豊かな心を持つ元気な子どもを育成することを目的として「チャレンジクラブ」を実施しています。

11月に「図書館探検隊！」と題して、クイズの答えを百科事典から見つけ出し、答えに関連した本を図書館の中で探しました。1月には女性連の皆さんと、パラリンピックでも注目されているポッチャやラダーゲッターなどの軽スポーツをして世代を超えて盛り上がりました。

令和4年度も楽しい企画を予定していますので、多くのお子さんの参加をお待ちしております！



図書館だより



毎月19日はしみず読書の日

映像でみる50年前の清水

昭和47年に制作された16ミリカラーフィルム『豊かなる清水』をDVDで気軽に見ただけになりました。工場働く人々、お祭りの様子など昭和40年代の町の賑わいが伝わる映像が収録されています。当時を知る方には懐かしく、知らない方には郷土の歴史を知る貴重な資料です。館内「AVコーナー」で視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。



新着図書からピックアップ



『真夜中のマリオネット』
知念実希人著
救急医の秋穂は、命を救った少年が自分の婚約者を殺した連続殺人犯かもしれないと知り、医師として治療を続けるか、立場を利用して仇を討つか葛藤します。ところが少年は、「僕は罵りかけられた」と涙ながらに彼女へ無罪を訴え、二人で真犯人を追うことに…。

一連の事件の糸を引いているのは誰なのか。黒幕らしき人物が二転三転し、最後まで息をつかせぬ展開のミステリーです。

- 『灰色の評決』 犬塚理人著
- 『警官の道』 呉勝浩ほか著
- 『おわかれはモーツァルト』 中山七里著
- 『人形姫』 山本幸久著
- 『ミス・パーフェクトが行く！』 横関大著
- 『日本人の宿題』 半藤一利著
- 『もう別れてもいいですか』 垣谷美雨著
- 『ミス・サンシャイン』 吉田修一著
- 『文藝春秋オピニオン2022年の論点100』(雑誌)
- 『鎌倉幕府の「謎」を歩く』(雑誌)

【令和4年度 学習会予定】

日程	学習予定	講師等
4月19日	開講式・町政講演	町長 阿部一男
5月17日	フォークソングライブ	辻村達夫氏
6月21日	落語を楽しもう	三笑亭可風
7月19日	介護施設の現状	せせらぎ荘職員
8月16日	社会見学(管内)	社会教育課職員
9月13日～14日	修学旅行(網走方面)	社会教育課職員
10月19日	膝痛予防教室	開西病院職員
11月16日	高齢者の交通安全	芽室自動車学校
12月20日	清水の歴史を学ぼう	清水郷土史研究会
1月18日	チョコレートの世界	株式会社明治
2月15日	漫才で笑顔に!	漫才説法シミーズ
3月7日	修了式・教育講演	教育指導幹



しみず学園生を募集します!

- ◆期間 4月～翌年3月(年12回)
- ◆時間 9時～14時30分
- ◆対象者 60歳以上の町民
- ◆会場 文化センター
- ◆会費 前期2,000円、後期3,000円
- ◆クラブ活動内容
歌謡、手芸、フラダンス、絵手紙、映画鑑賞、いけ花、書道、社交ダンス、パソコン、囲碁将棋 など
- ※新型コロナウイルスの影響により、クラブ活動の開始時期が遅れる可能性があります。
- ◆令和4年度の開講式日程
4月19日(火)
- ◆申込先 文化センター(☎62-5115)

町中央公民館では、生涯学習の観点に立ち、高齢者の生きがいのある人生観の確立と学習活動を促進するために「しみず学園」を開催しています。現在171名の学園生が在籍しており、毎月1回文化センターに集まり、午前中は学習会、午後からはクラブ活動を行っています。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、学習会の中止やクラブ活動も減少となりました。そのような中でも、昔昔亭A太郎さんの落語や漫才説法コンビ「シミーズ」の漫才で仲間とたくさん笑い合い、役場の保健師を講師に認知症について学ぶ

等、幅広い分野で学びを深めることができました。令和4年度は修学旅行やバス学習はもちろん、フォークソングライブや清水町の歴史について学ぶなど、様々な学習会を予定しています。学園生の方からは「月に一度の学習会が楽しみ」「クラブ活動でお友だちとお話ししながら楽しめるのが良い」などの声をいただいています。学ぶこと、活動すること、仲間と交流する機会として、しみず学園に参加してみませんか？

しみず学園



「十勝開墾会社」の基礎知識
「語り尽くせぬ難難辛苦」

令和2年10月号から始まった本連載は、これまで十勝開墾会社と渋沢栄一の話を中心にご提供してきました。今月はこのテーマの締め括りとして、会社の歴史や現地の実務責任者である農場長の苦勞、小作人の苦惱など、もっと深く知るための資料をいくつか紹介します。

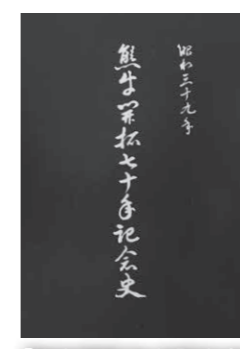
■農場要覧「十勝開墾株式会社1918(大正7)年発行」
開道50年記念北海道博覧会の開催を機に作製され、事業開始の動機や道半ばの農場の現況を伝えています。

■渋沢栄一92年の生涯全4巻
【白石喜太郎著 国書刊行会2020(令和2)年発行】
原本は1933(昭和8)年、刀江書院発行「渋沢栄一翁一全1巻です。著者は渋沢栄一の秘書。本書は雑誌連載の文を目にした栄一が、不備な点を示教した後に出版された伝記です。秋の巻では十勝開墾会社についての記録を残しています。

■吉田嘉市先生小伝(杉野直次著 1924(大正13)年発行)
第三代農場長吉田嘉市の遺曆を祝って編さんされました。開墾地の農場経営について、強い信念と具体の計画を持って農場長を引き受けた人間嘉市の全貌が語られています。読みやすい現代語版もあります。

■開拓70周年記念誌「松沢開拓農民の歩み」(飛岡久編集 1970(昭和45)年発行)
宮城県黒川郡大松沢村から十勝開墾会社の小作人として入地した開拓移民家族の苦勞がよくわかります。

■熊牛開拓70周年記念史(熊牛農業協同組合 1964(昭和39)年発行)
農地解放の顛末を知ることができ、小作人の声に耳を傾け迅速に対応した北海道庁担当者の行動と道理ある英断は痛快です。



我が町の歴史には後世に伝えたい事柄がまだまだあります。次号からの本コラムもどうぞお楽しみに！
・文責 草野 和好
(十勝清水郷土史研究会)

インタビュー

誕生

増永 実莉(童弥/陽花)
村山 心優(雅則/千里)
大原 渚咲(陽平/和香菜)

結婚

神谷 歴さん♡小山 明寿己さん

哀悼

田邊 しづ子さん 御影鉄南
篠原 文子さん 若松
横山 壽夫さん 鉄南
吉田 一栄さん 有明
鈴木 千工さん 北星
高野 吟子さん 日の出3
樋爪 護さん 竹葉
遠藤 和子さん 桜ヶ丘団地
石畑 節子さん 下佐幌新生
山下 米子さん 文京

電話予約により
休日に住民票などを
受け取ることができます

■受け取りできるもの
住民票、印鑑登録証明書、
戸籍の附票

■電話予約受付
月～金曜日(閉庁日を除く)
8時45分～17時30分

■予約先
町民生活課 (Tel. 62-1151)
御影支所 (Tel. 63-2111)

こんにちは
広報モニター
です

★表紙・裏とも華やかな成人式の写真。「コロナ禍のなか、感染対策をしながら無事に行われて良かったと思う。同級生との再会など楽しい雰囲気も伝わってきた。撮影スポットはいい案だと思った。」

★新成人の皆さんの笑顔がとても素敵で良かった。

★写真が小さくて見にくかったのがとても残念。

★転入・転出の特集、タイムリーな記事で、担当者も登場して親しみやすい。

★4月の転入・転出の時期を迎えて、このような説明があることは大変良いことだと思う。

★必要なことが大きな字でスッキリとまとめられてわかりやすかった。

★マンガ調で始まったので心がほぐれた。読んでみようという気持ちになった。

★どこかの町では、転入・転出時に、一括して保育所や学

校の手続きも全部できるところがあると聞いた。本町もそうならいいなと思う。

★転入してきた人が、新型コロナウィルスワクチンの3回目接種について知りたいと思ったときに、広報紙を見て確認しようとはなかなか思わないのではないか。

★健康最前線、「病は口から」舌に対しての視点を新しく持てることができた。

★福祉のひろば、ナカジマ薬局のサービスが高齢者の見守りサポートにつながっていることは、心強く素晴らしい取組みだと思つ。

★歴史探訪、町村金弥初代農場長がアイヌの人と共に熊牛から旭川まで踏査し、鉄道開通に貢献した話は、また一つ開拓の歴史を知ることができた。当時の人々の命がけの功績の上に、今の暮らしがあると感じた。

★北海道広報コンクールでの「特選」の受賞、日頃の取組みが実を結んだ結果だと思つ。町の宣伝にもつながったのでは。今後も楽しみに読ませていただきたい。

HELLO BABY

「広報しみず」にお子さんの写真を掲載しませんか?

「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいのお子さんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞ！写真はメールでも受け付けています！
mail: koho1@town.shimizu.hokkaido.jp

ご連絡お待ちしています！
役場来庁時に、広報広聴係にお声かけいただければ、その場で撮影します！



篠原 綾花ちゃん

お兄ちゃんと仲良くね！

ちようみん作品館

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

短歌

三月の来なば飯台に種豆を
広げて家族総出で豆選りし日の頭つ 坂下洋子

【玲瓏短歌会】

窓越しのつらはは伸びて光る朝
今日は大寒ゴールは節分 藤原静子

早朝に洗濯物を干しおれば
薄白き月よ吾を見るがに 村谷三恵

大雪は難儀なれども庭の木々
小麦も畑で春までお休み 森山ヤヨイ

厳寒には鉢の花々に覆い着せる
子育てのごと咲かせて居りぬ 田村徳子

目覚むればびつくり仰天雪二尺
自然の営み空見上ぐのみ 宗像三郎

雀らの喧騒突いて四十雀
ひまわりの種素早くゲット 大石 尚

凍てしまゝうす紅残しきさらぎの
空に散り遅くる一輪のバラ 橋本佳代子

2/22 帯広地方法人会清水地区会が
学校図書(207,526円分)を寄贈



2月22日、町内各小中学校へ学校図書(合計120冊)を寄贈した、帯広地方法人会清水地区会(谷口弘幸会長)に対し、町より感謝状を贈呈しました。
同会は税教育を普及する団体で、日頃から租税教室や税の作文コンクール等に取り組んでいる町内小・中学校に対し図書寄贈を行ったものです。生徒は本を手に取り「本が増えたらうれしい。ぜひ読んでみたい。」と話していました。

2/13 アISKヤンドル 300 個が点灯
牛乳の無料配布も実施



2月13日、冬の地域応援企画(御影青年部平成OB会主催)として、御影多目的公園及び御影神社で、アイスクヤンドルの点灯が行われました。
訪れた人は「アイスクヤンドルの幻想的な光に「とてもきれいで、見ていて心が癒される。」と写真を撮影していました。
また、牛乳消費拡大推進連絡会議の協力により、会場に訪れた先着50世帯に対し、牛乳1リットルがプレゼントされました。

リニューアルした
清水町公式ホームページを
ご活用ください!



令和3年12月に、清水町公式ホームページを全面リニューアルしました。
新しいホームページは、スマートフォン対応や外国語表記などの機能も追加されています。
町の情報は町公式ホームページをぜひご覧ください!



- 初心者でも気軽に体験、晴天のなか心地よい汗を - 歩くスキー講習会が開催



- 新型コロナウイルスの感染対策に - 清水郵便局がパーテーションとペーパータオルを町に寄贈



- 四季折々の風景 26 点を展示 - エントランスホール展「村上俊彦 彩画展 四季の清水」を開催



- 認知症のしくみを町保健師が講演 - しみず学園で学習会「認知症を学ぼう」が開催



TOWN EVENT CALENDAR 3/16~4/15

人口 9,124人 (-6)
男 4,500人 (+6) 女 4,624人 (-12)
世帯数 4,657 (-7)
令和4年2月末現在()は前月比

3/16	水		4/1	金	
17	木	■運転免許更新時講習 (文セ優良 13時30分、一般 14時30分、違反 16時)	2	土	
18	金	■図書館除籍済み資料・雑誌無償提供 ~25日まで(図書 10時)	3	日	■エントランスホール展「お着物再生 ゆびの音作品展」~28日まで(図書 10時)
19	土		4	月	
20	日		5	火	
21	月		6	水	
22	火		7	木	
23	水		8	金	■町民と町長のふれあいトーク(役場 9時) ■清水・御影小学校入学式 ■清水・御影中学校入学式
24	木	■清水・御影小学校卒業式	9	土	
25	金		10	日	
26	土	■おはなし会(図書 11時30分)	11	月	
27	日		12	火	
28	月		13	水	
29	火		14	木	
30	水		15	金	■図書館除籍済み資料・雑誌無償提供 ~21日まで(図書 10時)
31	木				

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承願います。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校



当日出席された皆さんと一緒に撮影

町長の日記
2月22日、民生委員・児童委員として活躍されている5名の皆さんの頭影授与式に出席しました。同授与式は、社会福祉向上に貢献された方々を社会福祉協議会が顕彰するものです。
いずれの皆さんも私が保健福祉課長時代に同委員を依頼した経緯があり、平成22年12月から11年以上にわたり任務に就いていただいています。
「11という形で祝辞を述べることになるのは不思議な巡りあることですね。」との言葉を添えて祝福させていただきました。
これからも本町の社会福祉のために益々のご活躍をお願いします。

あとかき
■牛乳消費拡大プロジェクト、私もイベント会場に足を運び、乳製品を購入し、料理等にも活用しています。
JA職員の方にお話を伺うと生乳廃棄の懸念は春先まで続くとのこと。同プロジェクトのイベントが終了した後も、少しではありますも、私も消費拡大に協力していきたいと思っています。(下保)

■先月、2月号の特集を担当し、あらためて紙面の内容構成やレイアウトについて難しいものだと感じました。読んでくれる人が必要となりそうな情報をどうやって「わかりやすく」伝えるのが、今後、広報紙を作るにあたっての自分の課題だと思っています。この課題を胸に、このご時世ということもあるため、体調管理第一で頑張っていきたいと思えます。(中澤)



この人を フォーカス

英語指導助手として昨年11月に着任

「子どもたちの英会話が 上達するお手伝いをしたい」

ア シュリーさんは学生の頃から日本の文化に興味を持っていて、アメリカのオークランド大学で日本語を学び、在学中には来日して滋賀県に1年間留学。留学中に東京や京都、大阪などさまざまな土地を訪れ、その経験などを通じて、将来は日本で英語を教える仕事に就きたいと思ったそうです。



本 町の英語指導助手として、本来であれば令和2年7月に着任する予定が、新型コロナウイルスの影響で来日が1年以上延期となり、令和3年11月に着任。「やっと

清水町に来ることができて、うれしかった。」と、来町できる日をずっと心待ちにしていたと話して

くれました。

ア シュリーさんは主に清水中学校での英語授業の指導助手を務めているほか、清水小学校でも週2回程度英語を教えています。

英語指導助手

アシュリー・シャフーンさん

ます。子どもたちが英語に興味を持って授業に取り組んでいる姿を見て、「英会話が上達するお手伝いをしたい。英単語のなかには発音が難しいものもあるので、繰り返し丁寧に教えていきたい。」と話し、また「毎日、子どもたちと接することはとても楽しい。」とやりがいを感じているようでした。

本 町にはご主人と居住されており、「清水の気候は出身地のミネソタ州とそんなに変わらないため過ごしやすい。」と話されています。本町で体験したいことを尋ねると、お二人ともスポーツなどが好きで、「ハイキングや登山などのアウトドアを体験したい。」と答えてくれました。

また、好きな日本食はラーメンとお寿司だそうです。その調理にもチャレンジしているそうです。



清水中学校2年生との英語授業の様子。生徒たちとの交流も楽しいと話すアシュリーさん。

清 水に来て約4か月が経ち、本町での生活にも少しずつ慣れてきた様子のアシュリーさん。「今後は書道などの日本文化も体験してみたい。皆さん、これからもよろしくお願いします！」とにっこり笑顔で話してくれました。

★プロフィール★
 アメリカミネソタ州シェルビータウンシップ出身。25歳。
 2019年にアメリカのオーランド大学を卒業。
 ご主人のジョセフさんとともに清水町に居住。
 好きな日本食はラーメン・お寿司